

会 議 録

会 議 名	平成28年度第2回小金井市文化財保護審議会（第6期）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	平成28年8月10日（火）午前10時から10時30分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎801会議室		
出 席 委 員	田中委員長 二宮委員 孤島委員 伊藤委員 鈴木委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	石原生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	無
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 開 会</p> <p>(1) 文化財保護審議会委員（第6期）新規委嘱委員の紹介</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 報告</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 名勝小金井(サクラ)復活事業アンケート結果について</p> <p>(2) 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 文化財ウィーク主催事業について</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 旧中村研一邸主屋及び茶室の市文化財指定及び登録について</p> <p>(3) 視察</p> <p style="padding-left: 20px;">市内文化財等視察</p> <p style="padding-left: 20px;">旧中村研一邸主屋及び茶室（花侵庵）⇒ 宝永五年廻国供養塔</p> <p style="padding-left: 20px;">⇒ 閻魔堂 ⇒ 市役所又は武蔵小金井駅</p> <p>3 次回日程</p> <p style="padding-left: 20px;">平成28年11月9日（水）午前10時～</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 名勝小金井（サクラ）に関するアンケート調査結果について</p> <p>(2) 視察用資料(事務局作成)</p> <p>(3) 旧中村研一邸の茶室（花侵庵）及び主屋建築について (伊藤委員作成資料)</p> <p>(4) 月刊こうみんかん6、7、8月号</p> <p>(5) 第2次明日の小金井教育プラン</p>		

会 議 結 果

- 田 中 委 員 それでは、定刻となりましたので、始めます。皆さん、おはようございます。前回ご都合により欠席で、本日初めてお見えになりました鈴木委員の自己紹介からよろしくお願ひします。
- 鈴 木 委 員 学芸大学の鈴木と申します。よろしくお願ひします。学芸大学は昔からこちらと長いおつきあいがありまして、先代、先々代の教授等、お世話になっております。そういうことで、私にもお声がかかりました。できるだけのことはいたします。よろしくお願ひいたします。
- 田 中 委 員 ありがとうございます。強いお仲間が加わりました。どうぞよろしくお願ひします。本日は、市の南側の視察を控えておりますので、早めに切り上げることになるかと思ひます。それでは、事務局の方から報告等をお願ひします。
- 高木主事(学芸員) 本日の予定と、今日配付しました資料の確認をいたします。本日はこのあと、外出しまして現地の視察を行いますので、こちらでの会議は30分ほどの予定です。その後、休憩をはさんで車で移動となります。
- 本日会議では、アンケート調査結果についてのみを資料として配付しております。
- それでは、名勝小金井桜復活事業アンケート結果について報告いたします。国の史跡であります玉川上水沿いに展開する小金井サクラ復活事業は、平成26年度から関野橋から梶野橋間の上流、中流域におけるヤマザクラ並木の整備事業を行ってまいりました。資料の5ページが、平成26年度からの整備範囲となっております。4ページの図1が、平成22年度から24年度までのモデル事業区間、こちらの整備状況も合わせた上で、玉川上水周辺住民のアンケートに加え、一般市民も対象にアンケートを実施いたしました。結果は、資料の1ページから3ページにお示しいたしました。そちらをご覧ください。
- 少しづつですが、事業への理解がすすんでいるものと受けとめております。こちらの資料の結果につきましては、公民館、文化財センター、図書館に閲覧が出来るよう配置され、市のホームページでもダウンロードができる状態となっております。以上が報告となります。
- 田 中 委 員 今までのアンケートはどうだったのですか。
- 高木主事(学芸員) 6ページにございます。
- 田 中 委 員 近隣の人は、同じ人が書いているわけではなく、選んでいるのですか。
- 高木主事(学芸員) 近隣住民については、エリアを変えていないので、同じ人が答えている可能性は高いです。特定はできませんが。
- 田 中 委 員 一般と近隣は違うというか、めだつた傾向というものは無いのですか。
- 高木主事(学芸員) 補足しますと、玉川上水沿いに平右衛門橋を架けまして、それについてもアンケートを行っております。これは、一般市民はご利用になっていないので、ご判断できないかと思われます。
- 田 中 委 員 全体的に肯定的になってきているようですね。前には、緑を減らすことに反対意見もあつたようですが。
- 高木主事(学芸員) 自由意見の中では、反対意見も示されてありますが、決してサクラの

<p>(複数委員) 田中委員 石原生涯学習課長</p>	<p>復活を否定するものではないというご回答をいただいております。 理解はすすんでいるのかもしれませんが</p>
<p>田中委員 石原生涯学習課長</p>	<p>ＣｏＣｏバスの経路は又同じになったのですか。 もともと歩道橋があったときは、その前にココバスの停留所があったのですが、架け替えで橋が無い時には、通過となっていました。平右衛門橋が架けられて、又バスの停留所が復活しました。</p>
<p>孤島委員 高木主事(学芸員)</p>	<p>この木とか草とかの手入れの具体的な方法は、水道局がやるのですか 玉川上水に設置されているフェンスの内側が東京都水道局の管理下です。南側が小金井市役所、北側が北多摩南部建設事務所という役割分担となっております。</p>
<p>孤島委員 高木主事(学芸員)</p>	<p>細かい話で時間をとっては申し訳ないのですが、小金井橋から陣屋橋までの南側の素晴らしいヤマツツジが、柵の内側になるので、小金井市でどうかできるものではないらしいのですが、保存できるものなら保存して欲しいと考えている市民は多いと思うのですが。そういう意見は、聞き入れてはもらえないのですか。</p>
<p>高木主事(学芸員)</p>	<p>水道局が管理者ではありますが、地元市である小金井市との協議のもとで、周辺住民のご希望を受けてサクラとツツジとの共存も検討はしていただけたと思います。</p>
<p>田中委員</p>	<p>勝手に切られてしまうことはない、ということですよ。ご心配なさらなくても。</p>
<p>高木主事(学芸員)</p>	<p>他には何かありますか。文化財ウィークについては、何かありますか。 今後の予定をお知らせいたします。東京文化財ウィークという名前で、毎年10月から11月末までの約2か月間、文化財保護の観点から、様々な事業が各自治体で行われています。 小金井市教育委員会も、これに関連しまして、3つの事業を行います。</p>
<p>高木主事(学芸員)</p>	<p>1つ目は、展示でございます。文化財センターにおいて、『小金井のまつりと民俗』をテーマに11月1日から12月25日までの期間に展示を行います。内容は、地元で現在でも伝承されているお囃子やお月見と、既に途絶えてしまった麦打ちや花火などの民俗をあわせて紹介します。</p>
<p>高木主事(学芸員)</p>	<p>2つ目は、文化財講演会として「修復された仏像」をテーマに11月12日(土)に行います。昨年度、木造閻魔王坐像の修復に携われた修復師であり、仏師でもある岩崎靖彦氏に講師を依頼しています。 当日は、講演会とともに、近くに安置してございます「木造閻魔王坐像」の見学も行う予定です。</p>
<p>高木主事(学芸員)</p>	<p>3つめは、11月19日に行います「史跡めぐり」です。こちらは、近年新たに指定された文化財や史跡を職員が解説しながら案内いたします。東京文化財ウィークは、このような冊子に掲載されますので、小金井市に限らず、市外からの応募も可能となっております。</p>
<p>田中委員 高木主事(学芸員)</p>	<p>講演会の講師は、あきる野市の方ですよ。そうですね。 そうです。</p>

- 田中委員 民俗芸能だと、ビデオに撮った映像を上映すとかそういうことを考えていらっしゃるのですか。
- 高木主事(学芸員) そういうことも少し考えています。
- 田中委員 ものを見るだけでは、イメージが湧かない。
- 高木主事(学芸員) 担当の学芸員と相談して、イメージが湧くような展示を検討します。展示の補足をいたしますと、お囃子ですと、市内の無形民俗文化財である小金井囃子の保存団体の方から、お囃子に使用する道具類をお借りします。その他、大正時代前後に、市内で、専門の花火師ではなく、地元の有志が集まって花火を調合した文献がことこまかに残ってありましたので、それを参考にして展示する予定であります。打ち上げ花火です。
- 田中委員 花火というと大きなものを考えるのですが、場所はどこで行っていたのですか。普通は川の付近を想像するのですが。
- 高木主事(学芸員) 場所は、文化財センターに近い、昔、畑や田圃があったところですね。昔、文化財センターの周囲には、数件の屋敷があるだけで、殆んどが田圃と畑だったようです。玉川上水も近くにはあるのですが。
- 田中委員 こういう催しを文化財センターで行うのは初めてではないですか。
- 高木主事(学芸員) 最近ではテーマをがらりと変えて、なるべく実物仕様のものを展示できるように工夫しようとしています。
- 田中委員 意欲的ですね。楽しみです。
- 高木主事(学芸員) 次の議題が、旧中村研一邸主屋及び茶室の市文化財指定及び登録についてですね。
- 高木主事(学芸員) これについては、茶室である花侵庵及び旧中村研一邸主屋についてですが、建物の管理者であるコミュニティ文化課より文化財として評価できるかどうかの相談を受けております。将来的には文化財建造物として、保存、活用を図りたいということで相談を受けています。文化財候補として、主屋及び茶室である花侵庵を後ほど、視察いたします。その際に、調査をしていただきました伊藤委員よりご説明をしていただきます。
- 田中委員 この資料で、ご説明いただくのですね。
- 伊藤委員 はい。6月に3度ほど現地を調査させていただいた結果をあわせてまとめさせていただいたものです。中村研一画伯邸宅と茶室が建築的にどのような価値があるかと保存状況を見させていただきました。私の方からは、建築的な立場から、事前にご説明させていただいた方がよいかと思うことを述べさせていただきます。
- 茶室は、冒頭に書いてあるように、昭和35年、主屋はその1年前の昭和34年竣工しております、その設計にあたったのは、佐藤秀三という建築家で、皆さんはご存知ないかと思うのですが、建築史ではよく知られた建築家で、戦前から戦後にかけて、木造住宅を中心に活躍した建築家です。
- 「洋風数奇屋」とよく言われるのですが、伝統的な日本建築に西洋建築的な要素を融合させた独特なデザインで知られております。

代表作としては、住友総本店の営繕課にいた関係で、①住友家の那須の別邸や②俣野別邸、これは神奈川の平塚ですが、2004年に国の指定重要文化財になったのに、放火事件で焼失し、指定解除になってしまったもの。設計したものに国指定の重要文化財がある建築家です。③渋沢栄一の孫である信雄邸、今は志賀高原の志賀山文庫に移築保存されています。④向井潤吉さんという画家のアトリエ、今は世田谷美術館の分館になっています。

その道では、かなり有名な建築家の作品であるということです。

この旧中村研一邸も、そう云う意味では、建築史的には意味のある物かなと思います。

花侵庵、茶室の方は、一つ大きな特徴は、元の民家を解体して竣工、新築するのですが、古材を転用して草庵風の茶室を作っているの、見るとあまりぱっとしないかと思われるかもしれないのですが、逆に言うと、独特の設計をしていらっしゃるところが一番大きいかなと思いますし、改修部分はあるのですが、ほぼ当初の状態が残っている。保存状態は良い。多少雨漏りの箇所が見受けられるので、早急に手をうたないといけないという部分もあります。

主屋については、「オープンミトン」というWEBにもよく出ているカフェに転用されていたために、厨房を整備されたり、1階に改修がはいついて、茶室より改造が大きいのですが、昔の柱とか主要な部分については、手を加えずにあるので、こちらも保存状況が良いかと思われま。

佐藤秀三は、独特な鋳鉄製の飾りをデザインしたり、ステンドグラスなどの佐藤秀三らしいデザインが随所に残っているところから、評価できると思われま。

全体としては、一つは、建築もさることながら、はけの傾斜地を生かした、非常に考えられた配置、外部空間が小金井市にとって非常に意味があると思われま。庭園も素晴らしい。

ところで、中村家は、戦前は代々木にアトリエを構えていましたが、戦災で焼けて、小金井に移住し、既存の民家を借りて住みました。戦前の航空写真に写る茅葺屋根の民家「小橋家（こはしけ）」を、そのまま借りて住んでいたというふうに思われま。次のページの図の3で、昭和34年の段階で建て替えるので、取り壊して前に住宅を建築し、住宅の西側に古材を利用した茶室を建てたと思われま。

もう一つ重要なのが、建てた時点の設計図面がしっかり残されていることです。図は、佐藤秀三の設計のプロセスを知る重要な資料です。次に現状の配置図。北側が湧水を利用した個性的な庭園です。その後が茶室の現状平面図。主屋の1・2階平面図です。

後は現地です。少し図面を見ながらご説明できればと思われま。

田中委員 ちよっと気になったのが、尺貫法でかかっている点なのですが。

伊藤委員 昭和30年代の後半になってこないかと、メートル法は一般化しないと思われま。大工さんに建てさせていますので。

田中委員 佐藤秀三さんの建築物は、他の建物も特徴的には似ているのでしょうか。

伊藤委員 住宅に関してのデザインは、この後、切妻の大屋根をもつ建物が多数建てられます。とくに向井潤吉邸の外観は似ていますね。

あと、確証がなかったので、書かなかったのですが、茶室の床柱が数奇屋にしては太すぎるので、昔の民家の座敷の床柱を転用したかと思われる。茶室と民家の座敷をミックスしたのかなと思っています。

芸術家の住宅ですので、中村さん自身も佐藤秀三と一緒にデザインに関わったと思われる部分もありました。

田中委員 それでは、次にコースの説明ですかね。

高木主事(学芸員) それぞれ一箇所ごとに説明することもございますし、この後10時40分に玄関に集まっていただいて、2台の車に分乗していただきます。最初に「はけの森美術館」、次に昨年文化財に指定いたしました「廻国供養塔」、最後に修復を終えました閻魔王坐像をご覧いただいて、こちらに戻ってくる予定です。ですが、時間によっては、そのままお帰りいただくようにもなるかもしれませんので、荷物は全部持って移動していただくようお願いいたします。

山崎文化財係長 1点事務連絡がございます。お手元に配付しました会議録は、前回ものですが、事前に校正され、訂正のご連絡をいただいたものについては、訂正済みです。ご覧になれなかったという方で、訂正をご希望される場合は、8月16日までにご連絡くだされば、対応させていただきます。無ければ、訂正無しと判断して、ホームページに掲載及び、図書館、議員図書室、情報公開コーナーに会議録を配置し、公開といたしますので、ご了解くださいますようお願いいたします。

(この後に視察後、解散)